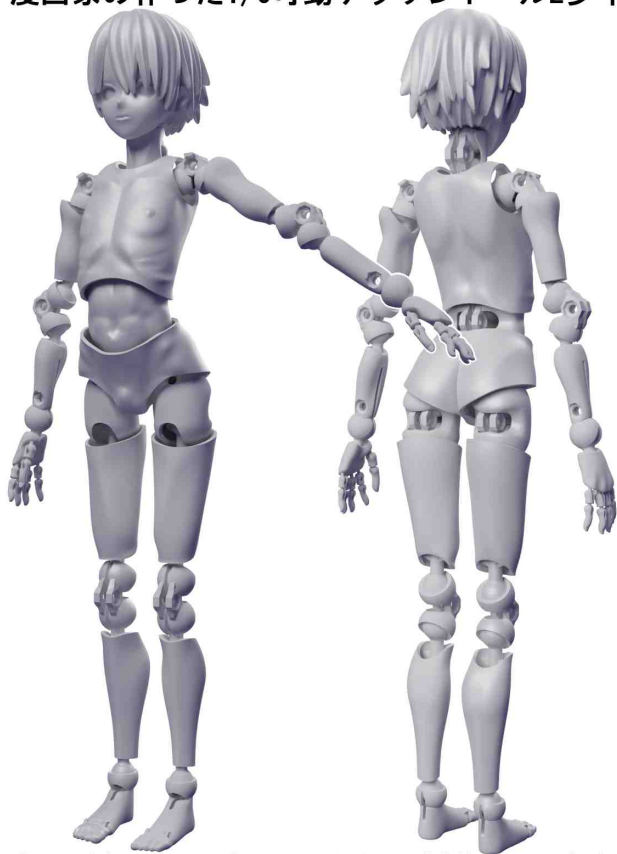


## 漫画家の作った1/6可動デッサンドール2少年



これは、従来のデッサンドールの可動域に不満を持った漫画家が自らモデリングしてみたイラスト用可動デッサンドールです。

新しいバージョンとなったデッサンドール2は、イチから設計を見直し、ゆるくなりがちな関節をネジで固定強化する構造に変更した上でフォルムの可愛さ、可動域の広さ、可動部の多さを、より追及しました。トレースするだけでアニメ調イラストが描けるドールを目指しています。

# 注意

出力品は完成品ではありません。あくまでも素材となります。  
プラモデルの組み立て程度の作業を必要とします。  
この説明書を読んだ上で可能だと思える方のみご購入ください。  
組み立て、破損などに対してのサポートはありません。  
オンデマンドの3Dプリント造形物ですので返品はできません。  
組み立てにはニッパー、ドライバー(小)が必要になります。

市販のネジを使って関節を強化するタイプになっています。  
別途小ねじ(M2×6またはM2×8)をお求めください。

ナイロン3Dプリント造形物はとても頑丈な素材ですが  
表面はざらざらで粉っぽく、積層跡が目立つ場合もあります。  
観賞用のドールとしては、オススメできません。

素材は1つのパーツにまとまった形で届きます。  
届きましたら、まず欠品や破損がないか確認してください。  
問題があった場合はその旨をプリントストアにご連絡ください。  
出力品が届くまでに各パーツを支える細い棒が破損することが  
ありますが、この部分は破損していても問題ありません。  
内部にナイロン粉末が残留している場合は、流水等で洗浄して下さい。

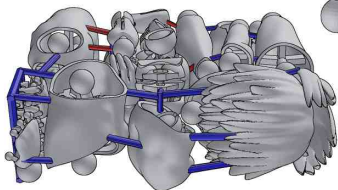
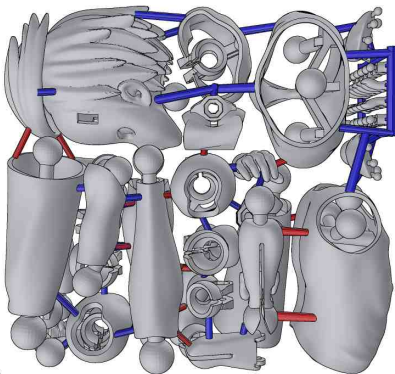
手のパーツは固定ハンドと可動ハンドの二種類があります。  
可動ハンドのパーツはとても細かく、また壊れやすく  
(私の今までの注文では、そういったことはおきていませんが)  
プリント積層の質によっては再現できていない可能性もあります。  
また組み立ても少々難易度が高く、途中で破損する場合もあります。  
可動ハンドはあくまでもおまけの付録ということでご了承ください。

各パーツが分離しやすく、飲みこめるサイズでありますので  
お子様、ならびにペットにはご注意ください。

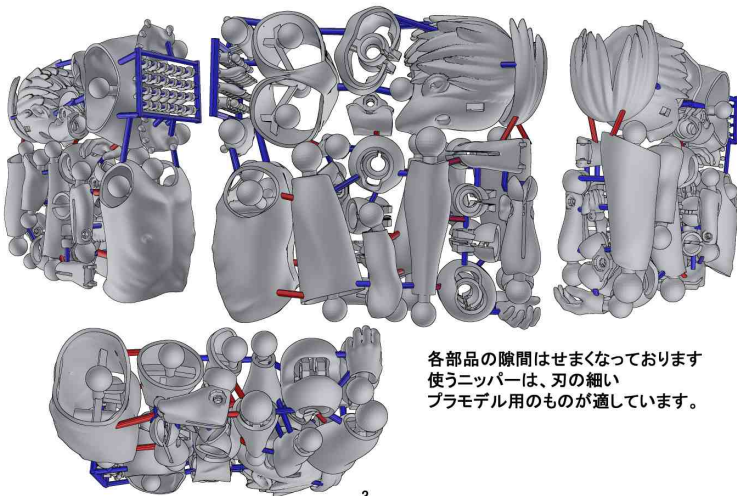
この出力品に関連して引き起こされた、  
いかなる事件事故に対して当方は責任を負いかねます。  
造形物形状、3Dデータの著作権は里好にあります。  
複製・模造販売を禁止します。  
モデルをトレース作画したイラスト等の発表に関しては  
ご自由にどうぞ。このドールに関する表記も不要です。

ご注文いただくと、図のような  
様々なパーツがランナーで  
一体化したものが届きます。  
図の赤と青で示した部分が  
ランナーです。  
組み立てる前にニッパーを使い  
ランナーを切り取り  
各パーツをバラす必要があります。

下図は他の5面から部品を  
見た図となります。



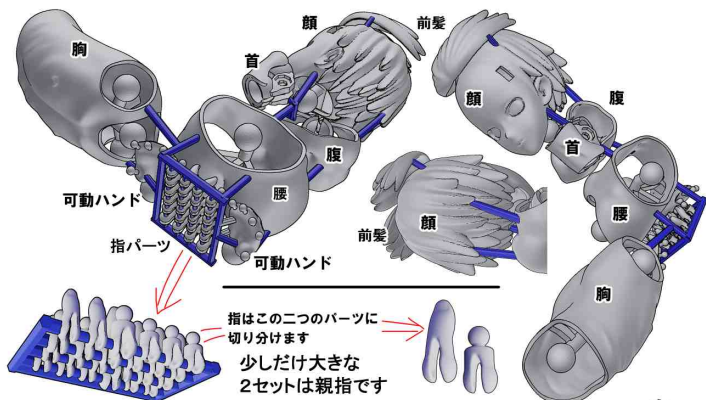
まずは図で赤く示したランナーを  
ニッパーで切り取ってください。  
うまく切り取ることができれば、  
3つのパーツ群にわけることが  
できます。



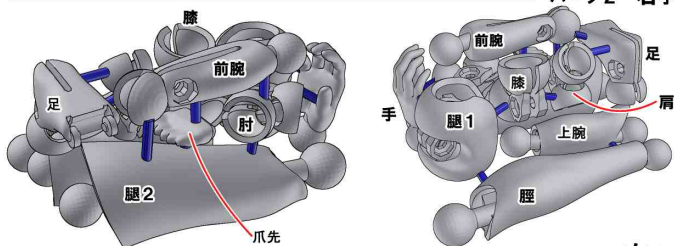
各部品の隙間はせまくなっております  
使うニッパーは、刃の細い  
プラモデル用のものが適しています。

前頁で赤く示した部分を切り取ると、3つのパーツ群にわかれます。  
次に説明書で青く描かれた部分をニッパーで切り取って、各パーツをバラしてください。

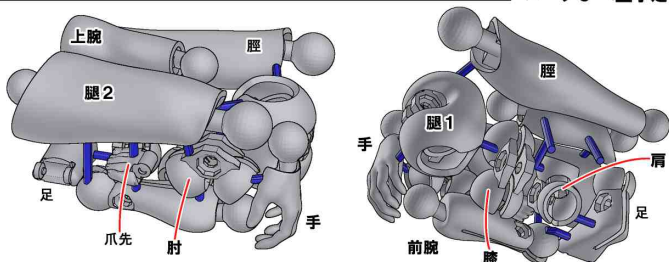
### パーツ1 頭、首、胴、腰



### パーツ2 右手足



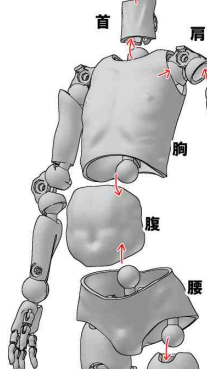
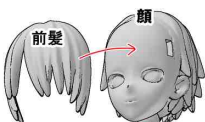
### パーツ3 左手足



パーツ2と3のパーツは混ざると左右どちらの手足かわかりづくなるので、離して置いてください。

## 組み立て

各球体関節をはめこみます。ナイロンは丈夫で折れにくい素材ですがあまり乱暴にやりすぎると壊れてしまいますのでご注意ください。  
少年はお尻を小さくデザインしたため、腰-腿2の接続がしづらいです。じっくりならすように入れてあげてください。



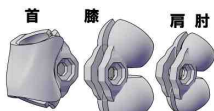
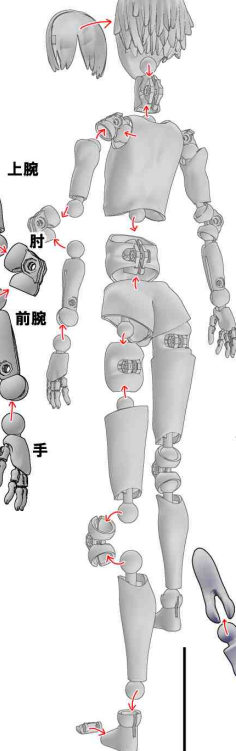
腿1  
腿2

膝

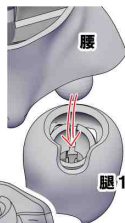
脛

足

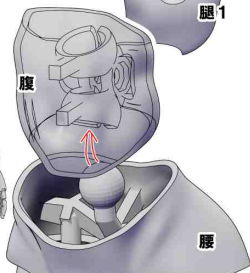
爪先



各ジョイントパーツサイズ比較  
膝は肩肘より少しだけ大きいです。



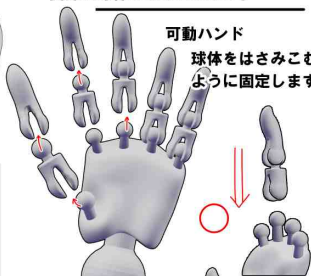
腿1



腹、腿1などのジョイントは、  
ねじりながら内部のキャップに  
関節の球体をはめこみます。

可動ハンド

球体をはさみこむ  
ように固定します。



指をつける時は  
玉の軸に  
横からの力が  
かからない様に  
注意してください。  
とても折れやすいです。

指の受け部分をドライバー等を入れて  
広げておくと球体を入れやすくなります。

今回のドールは各関節をネジで締めて固定強化する設計になっています。  
M2×6もしくはM2×8の小ネジとナットを別途用意してください。  
右図のように各関節の穴にネジとナットを通し、関節がほどよい固さになるように締めてください。

ピンセット、精密ドライバーにマグネットをつけ、ネジをドライバーにくっつけて作業をすると楽にできます。

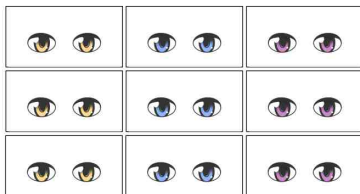
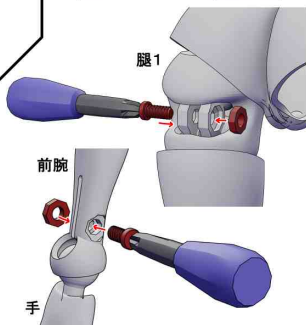
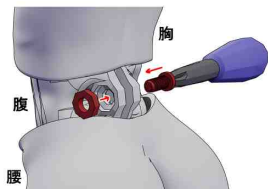
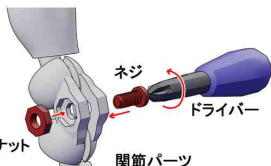
関節の仕上がりは、右の写真のようになります。破損する可能性もありますのであまり締めすぎないようにしてください。

ネジとナットは少なくともそれぞれ14個必要になります。



ネジはホームセンターで購入することができます。左の写真のネジはヨドバシドットコムにて5パックセットで購入できました。ネジとナットが別々となりますがAmazon、モノタロウでも購入することができます。

ネジで固定しない場合、かなり関節がゆるくなります。ボールジョイント部分にティッシュをかませたり、輪ゴムで一時的な代用ができます。



瞳はこのページをA4実寸でプリントし上の瞳素材を切り抜き、ピンセット、ノリなどを使って顔の中にはめこんで固定します。

